

令和6年度 北海道中学校体育大会 ソフトボールにおける熱中症防止対策及び 競技進行が困難な場合における代表チームの選出方法について

北海道中学校体育連盟事務局

【全競技に関わる熱中症防止対策】

- ・各競技における基本的な熱中症防止対策については、「北海道中学校体育大会における熱中症防止対策」（当連盟HPの「規約・お願い・連絡事項」のページに掲載）に基づき、大会運営を行う。
- ・会場の暑さ指数計において、暑さ指数（WBGT）が31℃（※気温と同じ単位であるが、気温だけではなく、気温・湿度・日射・輻射を総合した指標）に近づいたり、31℃を超えたりした場合には、会場の換気や観戦者の入場制限（屋内競技のみ）、大会の中断、競技日程の変更などの措置を検討する。
- ・前日の17時に気象庁より発表される「熱中症特別警戒アラート」（※「熱中症警戒アラート」とは異なる）が発令された場合には、その日の大会の中止を検討する。
- ・会期中に試合やレース等の全日程を終了することができなかった場合には、各競技ごとの基準に基づき、全国中学校体育大会の北海道代表選手及びチームを選定する。

【ソフトボールに関わる熱中症防止対策】

○ 基本的な対策

- 1 熱中症警戒アラートの発令の有無によらず、実測による暑さ指数（WBGT）が31に達する際の対応 *対応の詳細は、プログラム「競技上の注意」に掲載する。
 - 給水タイム（クーリングブレイク）の設定
 - ① 長時間に及ぶ守備時・・・打者一巡を目安とし、長時間（20分以上）に及ぶ守備となった場合の給水のための試合一時中断
 - ② 定例給水・・・・・・・・3回表、5回裏終了時の十分な給水タイムの確保
 - ③ タイブレーク時・・・延長戦になった場合の給水タイムの設定
7回裏終了時。その後、9回表、11回裏、13回表・・・と設定
 - 帽子の着用
女子はオフィシャルルールでは女子の着帽の規定はないが、着用を推奨する
 - 休養時間の設定
試合が連続するチームに対して、十分な休養時間を設定する。（30分以上の休憩を設けベンチ入り後、コイントスを行いフィールドイングを開始する）

○ 基本的な対策

2 「熱中症警戒アラート」が発令された場合

試合時間をずらす等の措置をとる。その場合、**1**の対応も併せて行うこととする。また、待機する際は、クーリングシェルター（室内・バス・宿舍）の使用をすることとする。実測によりWBGT 33に達する場合は、試合を一時中断する。（サスペンデット）

3 「熱中症特別警戒アラート」が発令された場合

適切な熱中症対策がとれない場合の試合は行わない。

● 競技が進行できない場合の代表チームの選出方法

予備日での試合実施により決定し、それでも決定できないときは、ソフトボール専門委員会での規定に基づいて、代表校を決定する。